

令和元年度 のびろ作業所事業報告

1 総括

平成31年度は利用者28名で定員になりました。退所者は昨年度末から年度初めにかけて、就労実習を行っていた利用者が6月より就労し、利用者数は27名になりました。就労支援事業活動は取引企業が9業者になり、作業量は比較的安定しておりました。余暇の活動は月に1日から2日しかなく、それだけに作業は充実しておりました。福祉事業活動は、利用者1名減ではありましたが、土曜開所、送迎などで、増収になりました。しかし、生活面での支えが必要なご利用者が増えつつあり、来年度へ向けての課題が多くなりそうです。

2 重点目標の取り組みと来期の課題

1) 利所者が居心地のよさを感じて過ごせるサービスの提供を目指します。

【目標】・全利用者が行なえる作業選びを行ないかつ、作業種選択の自由を推進していきます。
・作業の合間の時間を余暇活動として映画鑑賞やゲーム等のレクリエーションを行なっていきます。
・健康増進活動の一環として、ラジオ体操を行ない健康で丈夫な身体を作ります。

【取り組み】・企業にのびろ作業所で出来る仕事の内容を知っていただき、ご利用者に作業の選択をしていただきました。

・能率の良い作業の方法を常に頭の片隅に置き、余暇活動の時間が作れる様、取り組んできました。
・お昼休み後、職員が率先して屋外に出て、ラジオ体操を行ないました。

【取り組みの結果】・のびろ作業所の事を知っていただくには良い機会でしたが現実として、作業の選り好みは難しく、結果として7割程度の作業は全員参加で行なうことができましたが、全ての作業の全員参加は難しい様です。作業の選択の自由という点では納期の件を除いてはほぼ達成できました。

・年間を通して、メリハリのある、余暇時間が作れた様に感じます。就労Bとしての作業と余暇のバランスが大事だと思いました。
・今年は気候の変動が激しく、熱中症の心配や、風邪引きが有り、積極的な活動は出来ませんでした。

【来期の課題】・全員参加が出来る作業開拓を目指し、継続していきます。作業の選択の自由に関しても継続していきたいと思えます。

・余暇時間の内容についてももう少し趣向を凝らし、より楽しい時間にしていきたいと思えます。
・気候変動も想定に入れ、室内でも身体が動かせる運動を考えていきたいと思えます。

2) 職員が笑顔で働ける環境の整備を目指します。

【目標】・年次有給休暇の取得向上を図ります。全職員が連携・調整を図り休暇を取得しやすい環境を整えます。

・作業量の調整を図り、余裕をもって仕事を請負、職員のストレスを軽減します。
・個々の職員が意識してコミュニケーションをとり、笑顔ある職場作りを目指します。

【取り組み】・年次有給休暇の取得向上の取組として、職員同士のコミュニケーションを積極的にとりあい、話す時間を増やしました。

- ・作業納期を緩やかに設定し、職員ストレスの軽減の取組として、企業との連携を図り事前に企業の作業の予定、作業所の事業の予定を担当者同士で話し合っていました。
- ・会議以外に「話す場」を積極的に設け、意識してコミュニケーションをとりあいました。

【取り組みの結果】・年次有給休暇の取得向上の取組の結果として、国の義務としている五日以上の休暇は達成できました。

- ・作業納期を緩やかに設定し、職員ストレスの軽減の取組の結果として、企業側と作業所側での十分なコミュニケーションが図られ、結果として達成出来たと思います。
- ・「話す」事で、情報共有が図られ、問題に対しての対策が早くなり職員同士の連帯感がより強くなりました。その事により笑顔で働ける職場になりました。

【来期の課題】・課題として、徐々に長期の有給休暇を取れる雰囲気作りを進めていき、休暇取得のし易い、働きやすい職場環境を整えていきたいと思っています。

- ・作業納期を緩やかに設定することを継続し、職員のストレス軽減に努めて参ります。
- ・「話す場」をより多く設定し、継続的に笑顔のある職場づくりを行なっていきたいと思っています。

3) 地域の福祉ニーズに対応するサービス提供を目指します。

【目標】・地域での清掃活動を行い、地域に根ざした福祉施設として活動していきます。

- ・地元自治会による、地域パトロールに積極的に参加し地域貢献を促していきます。
- ・地元自治会、老人会、障害者団体への場所の開放を行ない開かれた施設として活動していきます。
- ・バザーの開催を行ない地域での交流活動を促していきます。

【取り組み】・清掃活動を行なう予定でしたが、天候や、作業時間、余暇時間に時間に割くことが多く、清掃活動は出来ませんでした。

- ・地域柳橋自治会区内の地域パトロールに参加し、地域の安全を守る活動を行ないました。
- ・地元柳橋自治会総会(年1回)、老人会食事会(年1回)、浦和障がい者施設連絡会役員会(年10回程)等に場所の開放を行ないました。
- ・バザーの開催の取組として、昨年10月にバザーを開催致しました。

【取り組みの結果】・天候や、作業時間、余暇時間が多く、地域の清掃活動は達成されませんでした。

- ・地域自治会・敬老会・障害者団体等への作業所の開放は結果として目標は達成されました。
- ・バザーの開催は結果として目標は達成されました。

【来期の課題】・時間的に無理があるのか、メニューが多すぎるのか、来期は視点を変え、地域でどのような活動が出来るかを考えていきます。

- ・地域自治会・敬老会・障害者団体等への作業所の開放の取組の課題として、作業所の作業の取組内容を地域の方々に知っていただく、催しを行なっていきたいと考えております。
- ・バザーの開催の課題として集客の増加をいかに行うかを考えていきます。

4) 福祉サービスの提供者としての役割を意識し、専門性と社会性の向上を目指します

| |
|--|
| <p>【目標】・研修による専門性のスキルアップを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none">・利用者との社会適応活動の実施により、社会とのパイプ役を目指していきます。 |
| <p>【取り組み】・埼玉県社会福祉協議会、日本セルフセンター協議会、浦和障がい者施設連絡会等主催の研修に参加し、又、所内研修を行ない職員のスキルアップを行ないました。</p> <ul style="list-style-type: none">・作業所の土曜開所を利用し、地域の商業施設や博物館等に出向き、見学、散策、買い物等を行ない社会適応活動を実施致しました。 |
| <p>【取り組みの結果】・研修により、職員のスキルアップに繋がり、より良い利用者支援が出来る様になりました。</p> <ul style="list-style-type: none">・地域に外出する事により人々のふれあいの中で利用者一人一人の成長が確認できました。 |
| <p>【来期の課題】・今後、より専門性の高い研修に参加して、利用者一人ひとりにより良い支援が出来るように自己研鑽を積んでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none">・社会適応活動を継続して利用者の社会適応を支援していきます。 |

5) 施設・事業所の財政健全化を目指します

| |
|--|
| <p>【目標】・毎月、財務三表の精査をし、無駄のない節約した支出に努めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none">・毎月の送迎加算、欠席時対応加算を精査し、収入状況を確認していきます。・魅力ある作業所づくりを行ない、利用率の安定を図っていきます。・平均作業工賃の増額をし、サービス費単価の保持をしていきます。 |
| <p>【取り組み】・財務諸表の精査の取組として、毎月の財務三表を見直し、次月の財務に反映するように致しました。</p> <ul style="list-style-type: none">・収入状況、加算の確認、利用率の向上の取組として、毎月の利用者さんの出欠席の状況、欠席時対応加算の状況、送迎加算の状況を精査し、利用率向上の確認を行ないました。・作業や余暇の充実を促進し、魅力ある作業所づくりを行なってまいりました。・来年度の平均作業工賃に反映させるべく、作業の充実を図りました。 |
| <p>【取り組みの結果】・財務諸表の精査の取組の結果として、増収に繋がっております。</p> <ul style="list-style-type: none">・収入状況、加算の確認、利用率の向上を行なった、結果、利用率の向上につながりました。・作業種の豊富さ、余暇活動の充実により、魅力有る作業所づくりを行なうことが出来ました。・今年度の利用者作業工賃の平均は上がりました。 |
| <p>【来期の課題】・今後もさらに細かい精査を続け、増収に繋げていきたいと思っております。</p> <ul style="list-style-type: none">・現在、定員1名減なので、利用者の確保が課題です。・作業についての先に掲げていた目標を継続し、魅力あるのびろ作業所づくりを続けていきます。・作業工賃の増収を更に続けていきたいと思っております。 |

3 申出のあった苦情の状況

なし

4 発生した事故の内容

なし

5 職員体制

(令和2年3月31日現在)

| | 所長（サービス管理責任者兼任） | 生活支援員 | 職業指導員 | 計 |
|-----|-----------------|-------|-------|---|
| 職員数 | 1 | 3 | 2 | 6 |

注 所長とサービス管理責任者は兼務

6 研修の実施状況

1) 施設内研修

| 研修テーマ | 内容 | 講師 | 参加職種 | 延回数 | 延人員 |
|--------|---------------|-----|------|-----|-----|
| 秘密保持研修 | 個人情報保護の保護 | 施設長 | 全職員 | 1 | 6 |
| 虐待防止研修 | 定義、防止、対応、身体拘束 | 施設長 | 全職員 | 1 | 6 |
| 事故対応研修 | マニュアルの制定、危機対応 | 施設長 | 全職員 | 1 | 6 |
| 苦情対応研修 | 苦情解決体制、解決業務 | 施設長 | 全職員 | 1 | 6 |

2) 施設外研修

| 研修名 | 主催 | 参加職種 | 人員 |
|--------------|-------|-------|----|
| レクリエーション研修 | 県社協 | 生活支援員 | 1 |
| 感染症研修 | 県社協 | 作業指導員 | 1 |
| 医療・薬研修 | 県社協 | 生活支援員 | 1 |
| 成年後見研修 | 県福祉士会 | 施設長 | 1 |
| 監査研修 | 県社協 | 施設長 | 1 |
| 話し方・折衝・交渉力研修 | 県社協 | 生活支援員 | 1 |
| 授産研修 | セルプ | 作業指導員 | 1 |
| 虐待防止研修 | 県社協 | 作業指導員 | 1 |
| 精神科医療研修 | 浦施連 | 全職員 | 6 |
| 食を考える研修 | 共済病院 | 施設長 | 1 |
| 管理者研修 | 県福祉課 | 施設長 | 1 |
| 中堅職員キャリアパス研修 | 県社協 | 生活支援員 | |

7 行事の実施状況

| 実施月日 | 行事名 | 実施場所 | 参加者 | | | |
|-------|------------|-----------|-----|----|-----|----|
| | | | 利用者 | 職員 | その他 | 計 |
| 4月9日 | お花見 | 県民健康福祉村 | 22 | 6 | 1 | 29 |
| 6月7日 | エンタテメント | 障害者交流センター | 20 | 5 | | 25 |
| 9月22日 | ふれあいスポーツ大会 | 岩槻文化公園 | 18 | 6 | | 24 |
| 10月5日 | バザー | のびろ作業所・荘 | 11 | 6 | 10 | 27 |

| | | | | | | |
|--------|---------|------------------|----|---|----|----|
| 10月7日 | 利用者健康診断 | のびろ荘・検診車 | 26 | | | 26 |
| 10月23日 | 防災避難訓練 | のびろ作業所・競馬場駐 場 | 26 | 6 | | 32 |
| 11月15日 | 日帰り旅行 | 群馬田園プラザ | 24 | 6 | 10 | 40 |
| 12月25日 | クリスマス会 | のびろ作業所 | 27 | 6 | 2 | 35 |

参考資料

のびろ作業所の活動状況

1 利用実績

就労継続支援B型 (定員 28名)

| | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 計 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|------|
| 利用者数 | 28 | 28 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 245 |
| 延べ人数 | 514 | 520 | 519 | 569 | 456 | 496 | 573 | 518 | 537 | 4702 |
| 利用率(%) | 87 | 88 | 84 | 88 | 85 | 84 | 92 | 84 | 87 | |
| 新規利用 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 退所者等 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |

2 通所者の状況

1) 年齢状況

(平成31年4月1日～令和1年12月31日 単位：人)

| | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～69歳 | 70～歳 | 計 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|------|----|
| 男 | 2 | 2 | 4 | 5 | 2 | 4 | 19 |
| 女 | 0 | 2 | 4 | 1 | 1 | 0 | 8 |
| 計 | 2 | 4 | 8 | 6 | 3 | 4 | 27 |
| 比率(%) | 0 | 100 | 100 | 20 | 50 | 0 | 42 |

2) 通所期間

(平成31年4月1日～令和1年12月31日 単位：人)

| | 1年未満 | 1年～ 3年未満 | 3年～ 10年未満 | 10年～ 20年未満 | 20年～ 30年未満 | 30年以上 | 計 |
|-------|------|-------------|--------------|---------------|---------------|-------|----|
| 男 | 0 | 3 | 5 | 5 | 1 | 5 | 19 |
| 女 | 0 | 0 | 2 | 1 | 3 | 2 | 8 |
| 計 | 0 | 3 | 9 | 6 | 4 | 7 | 27 |
| 比率(%) | 0 | 0 | 40 | 20 | 30 | 40 | 42 |

3) 障害区分の状況

(平成31年4月1日～令和2年12月31日 単位:人)

| 区分 | なし | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 計 |
|-------|----|---|----|-----|----|---|---|----|
| 男 | 5 | 0 | 5 | 3 | 6 | 0 | 0 | 19 |
| 女 | 2 | 0 | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 8 |
| 計 | 7 | 0 | 6 | 6 | 7 | 1 | 0 | 27 |
| 比率(%) | 40 | 0 | 20 | 100 | 16 | 0 | 0 | 42 |

3 ボランティア・実習生の受け入れ状況

1) ボランティアの内容と人数

| 活動名 | 内容 | 延べ回数 | 延べ人数 | 活動名 | 内容 | 延べ回数 | 延べ人数 |
|-------|--------|------|------|-----|----|------|------|
| 作業ボラ | 作業手伝い | 67 | 67 | | | | |
| バザーボラ | バザー手伝い | 1 | 10 | | | | |

2) 実習生等の受け入れ状況

| 学校名 | 免許資格 | 人員 | 実習延日数 | |
|----------|------|----|-------|--|
| 浦和特別支援学校 | | 3 | 13 | |
| 清瀬療護園 | | 1 | 16 | |

4 事故の状況 (行政報告事故以外の事故及びヒヤリハット)

なし